



満員御礼！ 水戸黄門劇

7月18日、莊野協働のまちづくりネットワークが、劇団「座 SHOUNO」を旗揚げし、莊野公民館でポイ捨て禁止をテーマに「水戸黄門」の芝居公演を行いました。莊野協働のまちづくりネットワークの環境部会が、より効果的に環境保全を呼びかけようと企画。全国モーターボート競走施行者協議会の助成を受けて、専門家による指導のもと演劇練習に励み、衣装や大道具も協力して作り上げました。

当日は、約150人が来場し、満員御礼。リハーサルでは見られなかったアドリブで来場者の笑いを誘い、ポイ捨てに加担した悪代官が捕らえられ、見せ場では、大いに盛り上がり、拍手喝采でした。最後に、水戸黄門の替え歌で「輝く莊野をつくろう」と会場全員で歌い、住みよいまちづくりに向けた思いを一つにしました。



悪代官役を好演した出口博さんは、

「環境を大切にというメッセージが伝わったと思います。準備は大変でしたが、地域のみなさんと楽しみなができました。」

と達成感あふれる表情。住みよい莊野に向けて一歩前進です。

給食センターってどんなところ？

～子どもたちがセンターを見学～



7月24日、竹原すくすくセンターで、「竹ちゃん『3み』プロジェクト」が実施され、子どもたちが施設見学を通して、学校給食がどのような形で作られているかを学びました。センター内では、施設に関するクイズや「食」をテーマとしたパネル展示、給食の試食などがあり、子どもたちは楽しみながら見学しました。「釜が大きくて驚いた。いつも給食は残さず食べています。」と話すのは、親子で参加した東野小学校4年の大野介也くん。お母さんの大野千恵さんは、「給食が作られる過程を知り、清潔で、安全・安心な施設だと思いました。」とセンターの印象を語ってくれました。

いざ、全国大会へ！



7月20日、市民館で全国大会出場者激励会が開かれました。厳しい予選勝ち抜いて、全国大会への切符を手にした28人。激励会では、出席者が全国大会に向けた意気込みを語りました。

「高校3年で、インターハイ出場

は最後なので、目の前の一番の勝利をつかんでいきたいと思います。」（全国高等学校総合体育大会「相撲」出場／上中雅嗣くん／竹原高等学校3年）

「限られた練習時間を大切にして、結果を残していきたいです。周りの人たちの期待に応えたいです。」

（全国高等学校定時制通信制体育大会「卓球」出場／海本亜希さん／三原高等学校4年）

といった言葉から、大会に対する、それぞれの熱い思いが伝わってきました。

全日本少年剣道錬成大会に出場する、竹原中学校3年の松田隆聖くんは、

「自分のベストを尽くせるように、がんばってきます。」と力強く決意を語ってくれました。

出場者のみなさん、自分の力を信じて、頑張ってください。

町並み保存地区でドラマ撮影

7月10日、町並み保存地区で日本テレビ終戦記念ドラマの撮影が行われました。夏祭りのシーンのため、約60人のエキストラは、浴衣やお面姿で撮影に参加。町並みには、たくさんのちょうちんやのれんが飾られ、にぎやかな雰囲気に包まれた1日となりました。



ちょっさの声で 練り歩き

7月17日、忠海祇園祭みこし行事が開催されました。地域の先輩の指導のもと、20歳になる若者が行事を進め、終日「ちょっさ」の声で練り歩く姿を地域の人が温かく見守りました。約600kgの神輿がまわされる様子は、圧巻でした。



熱く燃えた！ 水泳大会

7月23日、大乘小学校で、第55回芸南学童水泳大会が開催されました。「がんばれー」という仲間からの熱い声援を受け、ゴールに向かって、最後まで全力で泳ぐ児童たちの姿に、会場からは温かい拍手が送られました。



ご当店グルメ 竹原たこめしデビュー

7月25日、道の駅たけはらで、竹原タケノコ料理推進協議会が地場産のたこを使った「竹原たこめし」の完成発表会を行い、市内3店舗の個性的なメニューがそろいました。「竹原たこめし」に続くヒットとなるか期待が寄せられています。



篠笛から学ぶ 豊かな演奏

6月29日と7月15日、仁賀小学校で、文化庁が行う「子どものための優れた舞台芸術体験事業」として、篠笛奏者の竹田文雄さんによる篠笛教室が開催されました。

今年度、児童は和太鼓と篠笛で「大慈〜愛〜」という曲に挑戦しています。今回、その演奏をより豊かなものにするため、篠笛について学ぶ機会がつけられました。

竹田さんによる演奏後、篠笛の構造を学ぶために、実際に制作体験もしました。今後、この体験が演奏にどのように生かされるか楽しみです。



竹原貿易港の40周年を祝う

7月20日、大広苑で竹原貿易港開港40周年記念式典が開催され、港湾関係者がその節目を祝いました。

昭和46年に貿易港として開港し、地域経済を支えてきた竹原貿易港。式典では、広島県の港湾政策についての講演なども行われ、今後の港湾振興を考える場となりました。

また、7月23日には、40周年記念行事として、瀬戸内海の多島美を楽しむクルージングも行われました。子どもから大人まで、多くの人が参加し、瀬戸内海の魅力を堪能しました。